簡単設定ガイド

デュアルラジオアクセスポイント
ACERA 1320

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、ご注意いただきたいこと、接続や設定の方法について説明しています。
ご使用になる前に本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。
取扱説明書は下記 URL よりダウンロードいただき、ご覧ください。

株式会社フルノシステムズ　サポートセンター
https://www.ii-desk.com/

1．付属品

■製品に付属しているもの

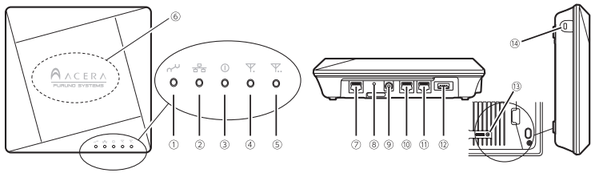
□ アクセスポイント コネクターキャップ ×４	□ 保証書 	□ 取付板キット 	□ ゴム足 ×４
□ 簡単設定ガイド （本書）	※取付板キットの取り付け 取付ネジは壁面に適合したものを用意してください。壁面や天井の材質によっては、アンカーが必要になります。材質にあわせてご用意ください。		

■必要に応じて使用するオプションパーツ

■お客様または工事業者にご用意いただくもの

□ AC アダプタ OP-E0069	□ マグネット 	□ LAN ケーブル ケーブル保護、固定に必要な材料を状況に応じて用意してください。 □ 電工用工具一式・取付金具類 天井から吊り下げるなど、特別な処理を行う場合は必要な材料を用意してください。 □ PoE 給電装置（IEEE802.3 at 規格対応） ミッドスパン型もしくは PoE HUB（エンドポイント型）を用意してください。

2．各部の名称と機能



■各部の名称と機能

番号	名　称	機　能
①	サブ LED	本体のハードウェア故障状態を表示します。
②	有線 LED	LAN ポートの通信状態を表示します
③	ステータス LED	本機の動作状態を表示します。
④	無線 LED 1	無線での通信状態を表示します。 （無線機 1 802.11ax/ac/n/a 5GHz 内蔵アンテナ）
⑤	無線 LED 2	無線での通信状態を表示します。 （無線機 2 802.11ax/n/g/b 2.4GHz 内蔵アンテナ）
⑥	内蔵アンテナ	ケース内部にアンテナを内蔵しています。アルミシールなどを貼らないでください。
⑦	CONSOLE コネクタ	メンテナンス用です。何も接続しないでください。
⑧	DEFAULT スイッチ	3 秒間以上スイッチを長押しすると、本体の設定を工場出荷状態に戻します。
⑨	DC 12V IN コネクタ	専用 AC アダプタを接続します。
⑩	LAN1/PoE コネクタ	LAN ケーブルを接続します。 PoE 給電する場合は、AC アダプタを接続しないでください。
⑪	LAN2 コネクタ	LAN ケーブルを接続します。
⑫	USB コネクタ	USB メモリから設定ができます。
⑬	CONFIG スイッチ	メンテナンス用です。押さないでください。
⑭	セキュリティスロット	ケンジントンロックに対応しています。

■ LED の点灯状態

状態		サブ LED	有線 LED	ステータス LED	無線 LED 1	無線 LED 2
起動／稼働準備中		橙点灯	−	橙点灯	−	−
自己診断エラー		橙点灯	−	−	−	−
有線 LAN リンク断検出中		−	−	橙点滅	−	−
DHCP で自機 IP 取得失敗 (起動時)		橙点灯	−	橙点滅	−	−
GW 疎通確認エラー（起動時）		橙点灯	−	−	橙点滅	−
DNS サーバ疎通確認エラー (起動時)		橙点灯	−	−	−	橙点滅
UNIFAS サーバと通信失敗 (登録エラー)		橙点灯	−	−	橙点滅	橙点滅
オンライン モード	待機中	−	−	青点滅	−	−
	データ送受信中	−	青点滅	青点滅	青点滅	青点滅
オフライン モード	待機中	青点滅	−	青点滅	−	−
	データ送受信中	青点滅	青点滅	青点滅	青点滅	青点滅
内部プログラム更新中		橙点滅	橙点滅	橙点滅	橙点滅	橙点滅

※設定ファイルが無い場合、電源投入時サブ LED が橙色点灯したままになります。

3．初期設定値

■ネットワーク／システムの出荷時設定

IP アドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
ユーザー名	user
パスワード	user

■無線機の出荷時設定

項目	無線機 1	無線機 2
無線モード	IEEE802.11ax	
チャンネル幅	80MHz	40MHz
チャンネル	40	1
チャンネル動的切替	無効	
送信出力	4	

■ ESSID の出荷時設定

項目	無線機 1 ESSID1	無線機 2 ESSID1
設定の有効 / 無効	有効	
ESSID	SAMPLE5G	SAMPLE24G
ステルス	有効	
セキュリティ	WPA2-Personal	
ー　暗号方式	AES	
ー　パスフレーズ	TESTSAMPLE	

※主な設定値のみ記載しています。他の設定値／詳細については取扱説明書を参照してください。

4．接続・起動

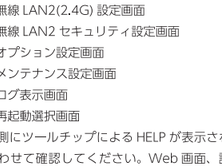
オプションの AC アダプタにより本機へ給電する場合の接続手順です。
※ PoE 給電機能を持つハブまたはルーターと本機を接続する場合、AC アダプタは使用しません。

AC アダプタは接続しないでください。

DC 12V IN コネクタへの挨等の入り込みを防止するため、コネクターキャップを付けてください。

① ハブまたはルーターの LAN ポートと本機の LAN1（PoE）ポートに LAN ケーブルで接続します。
② 本機表面にあるステータス LED が橙色（準備中）から青色（準備完了）に変わります。

AC アダプタの DC プラグを DC 12VIN コネクタに接続し、AC プラグをコンセントに接続すると電源が入ります。



5．Web ブラウザによる設定（ST モードのみ）

本機の設定は、以下のいずれかの方法で行います。
・Web ブラウザを使用する (本章で説明します)
・ACERA Setup Utility(ASU) を使用する
(ASU は弊社サポートセンターからダウンロードしてください。
使い方の詳細については ASU の HELP を参照してください)
・USB メモリを使用する （詳細については製品の取扱説明書を参照してください)
Google Chrome 86.0.4240.111、Edge 86.0.522.51 以上のバージョンを使用してください。
※その他のブラウザでの動作は保証しておりません。
※本機の Web 設定では、JavaScript の機能を使用し、Web 設定画面の動的な表示変更の対応や設定内容のチェック等を行っております。JavaScript の機能はブラウザ側で有効 / 無効を設定します。無効になっている場合、正常な設定が行えない場合があります。ブラウザの JavaScript を有効にした後、本機への設定を行ってください。有効にする方法の詳細については、取扱説明書を参照してください。

■ Web ブラウザでの設定手順（ST モード時のみ使用可能）

① 設定用 PC と本機をネットワークに接続し、起動します。
② 192.168.1.10/24 の IP アドレスと通信できるように PC の IP アドレスを設定します。
(例 192.168.1.100)
③ PC のブラウザを起動し、アドレスバーに、「3．初期設定値」に記載の IP アドレスを入力します。
「 http://192.168.1.10/ 」
④ ユーザー認証画面が表示されますので、次の初期値を入力します。
「 ユーザー名 :user 」「 パスワード :user 」(小文字の u、s、e、r)
⑤ 認証に成功すると設定画面が表示されます。
⑥ 各種設定を行います。
※ 設定の入力完了時は必ず「設定反映」ボタンをクリックして、設定した各種設定を反映してください。

■設定内容

以下の 11 画面で構成されています。
(1)　TOPページ
(2)　一般設定画面
(3)　有線 LAN 設定画面
(4)　無線 LAN1(5G) 設定画面
(5)　無線 LAN1 セキュリティ設定画面
(6)　無線 LAN2(2.4G) 設定画面
(7)　無線 LAN2 セキュリティ設定画面
(8)　オプション設定画面
(9)　メンテナンス設定画面
(10)　ログ表示画面
(11)　再起動選択画面

※画面右側にツールチップによる HELP が表示されますので合わせて確認してください。Web 画面、設定内容の詳細については取扱説明書を参照してください。

・表示例　Web 起動画面

・表示例　一般設定画面

6．接続確認

・本機と無線接続した端末でインターネットを利用するには、本機がインターネットの利用が可能なネットワークに有線接続している必要があります。
・Wi-Fi 接続の詳細については、各端末の取扱説明書および各 OS の設定方法を確認してください。
・本機をステルスモードに設定している場合、接続先情報を手動で入力する必要があります。

■ iPhone、iPad、iPod touch で接続する（iOS）

① [設定] アイコンをタップし、設定画面を表示します。
② [Wi-Fi] スイッチをタップして [ON] の位置に動かします。
③ ネットワークのリストが表示されます。
④ 接続するネットワークの名前（SSID）　をタップします。

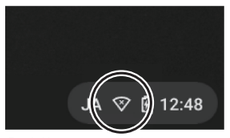
⑤ パスワードを入力して「接続」をタップします。

⑥ ネットワークの横にノが表示され、画面上部にアンテナのアイコンが表示されると、接続の設定が完了します。

※ 一度接続設定をした SSID は、[Wi-Fi] を [ON] にしている状態で通信エリア圏内に入ると、自動的にそのネットワークに接続するようになります。

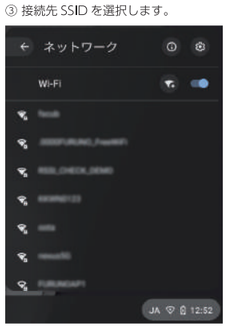
■無線 LAN 内蔵パソコン、タブレットで接続する（Chromebook）

① 画面の右下に表示されている [無線 LAN] アイコンをクリックします。
クイック設定画面が表示されます。



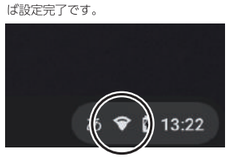
② [無線 LAN] アイコンをクリックします。

③ 接続先 SSID を選択します。



④ セキュリティキー（パスワード）を入力し [接続] をクリックします。

⑤ [無線 LAN] アイコンの [×] が表示されなくなれば設定完了です。



・iPhone、iPad、iPod touch は、Apple Inc. の米国および他の国における登録された商標または登録商標です。
・iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
・Android 、Chromebookは、Google LLC の商標または登録商標です。
・Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における商標または登録商標です。

■ スマートフォン、タブレットで接続する（Android）

アイコン、操作および画面表示は、Android の OS バージョン、機種によって異なります。
各端末の取扱説明書、および各 OS の設定方法を確認してください。
① 画面上端から下にスワイプし、表示されたメニューから [設定] メニューを開きます。
② [無線とネットワーク] で [Wi-Fi] をタップします。
③ [Wi-Fi] スイッチをタップして [ON] の位置に動かします。

④ ネットワークのリストが表示されます。接続するネットワークの名前（SSID）をタップします。

⑤ パスワードを入力して [接続] をタップします。

⑥ [接続されました] の表示になれば設定が完了し、画面上部にアンテナアイコンが表示されます。
※ 一度接続設定をした SSID は、[Wi-Fi] を [ON] にしている状態で通信エリア圏内に入ると、自動的にそのネットワークに接続するようになります。

■ 無線 LAN 内蔵パソコン、タブレットで接続する（Windows 10）

● 設定開始前に端末側の無線機能を必ず有効にしてください。
無効時は、[Wi-Fi] が表示されていません

① 画面の右下のタスクトレイにある [アクションセンター] アイコンをクリックします。
② アクションセンターが表示されたら [Wi-Fi] を右クリックします。
③ [設定を開く] をクリックします。

④ スイッチを [オン] に動かすと、リストが表示されます。

⑤ 接続先 SSID を選択し、[接続] をクリックします。

⑥ セキュリティキー（パスワード）を入力し [次へ] をクリックします。

⑦ [接続済み] の表示になれば設定完了です。

7．無線通信エリア

■壁や金網による減衰

電波は壁や金網により著しく減衰します。壁や金網越しに通信する場合は、通信エリア測定を行ってください。

■同一周波数帯（2.4GHz）を使用する機器からの影響

IEEE802.11ax/n (2.4GHz帯) 、IEEE802.11g/b規格の無線 LAN の周波数帯は、2.4GHz 帯の ISM バンドを使用しています。電子レンジや医療用高周波設備（ISM 機器）などが通信エリア内や近くにある場合は、電子レンジなどを稼働させ、事前に干渉などの影響により通信速度が低下しないか確認してください。

■通信エリアの目安（推奨）[電波強度 4（最大）の場合　設定範囲：0 ～ 4]

オフィスなどの見通しのよい環境では、アクセスポイントを中心として概ね半径 25m が安定して通信できるエリアです。電波は、半径 25m 以上の広範囲に到達しますが、アクセスポイントから離れるほど微弱になり安定して通信できない傾向があります。複数設置する場合は、30m 間隔を目安に配置してください。各端末のアンテナ性能は異なります。また、アクセスポイントの向き、アクセスポイントに対する端末の向きによっても通信エリアは変わります。ご使用になる端末で、通信エリア、通信速度を確認してください。

※塀、壁やパーティションなどの障害物の影になるエリアは、通信エリアが狭くなります。
アクセスポイントの設置位置を変更し、通信エリアを確認してください。

※電波強度を低く設定すると通信エリアは狭くなります。

※通信エリアは、ケースの金属面側（取付板を取り付ける方向）および真横方向が狭くなります。

また、以下の点に注意して取り付け位置を決定してください。

・通信しようとする範囲の中心の、できるだけ高く見通しの良い場所。
・本体の周囲に金属物などの電波障害を起こすものがない場所。
・メンテナンスしやすい場所。
・12 項『設置上の注意点』を参照してください。

■本機を複数台取り付ける場合のチャンネル設定について

［複数設置する場合］

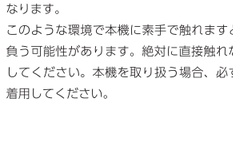
（1）IEEE802.11ax/n/g/b (2.4GHz帯) :1ch/6ch/11ch のように 5ch 離して割り当てることを推奨します。
（2）IEEE802.11ax/ac/n/a (5GHz 帯) :36ch/40ch/44ch/48ch を重複しないように割り当てることを推奨します。

※ IEEE802.11ax/n (5GHz帯)、IEEE802.11ac/a規格は直進性の高い 5GHz 帯を使用しているため、見通しの悪い環境では通信エリアが極端に狭くなる場合があります。

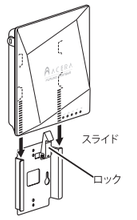
※ IEEE802.11ax/ac/n 規格は、無線通達に反射波も含め複数の経路を利用し、また、無線帯域を増やす事で高速通信を実現しています。従来の無線 LAN よりも、ご使用になる建物の構造や、電波の混み具合によって通信速度が左右されやすくなっています。

8．設置

取付板キットを使用する場合
ネジは取り付ける壁面に適合したものを
使用し確実に固定してください。



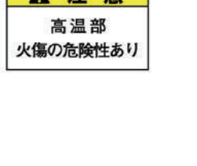
種類　：＋ナベコネジ
サイズ：M4
長さ　：10mm 以上
材質　：鉄、ステンレス



・本機を取付板のレールにスライドさせカチッと音がしてロックするまで押し込んでください。

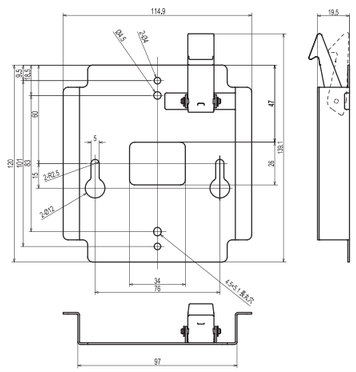
外す場合はロックを解除してください。

卓上に設置する場合
付属のゴム足を本機に
貼り付けます。



9．取付板 寸法図

取付板　寸法図 (単位 :mm)



■高温注意

使用になる環境が 50℃を超える場合、本機が高温になります。
このような環境で本機に素手で触れますと、やけどを負う可能性があります。絶対に直接触れないよう注意してください。本機を取り扱う場合、必ず手袋などを着用してください。

10．ファームウェアの更新

ファームウェアの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。起動しなくなることがあります。

本機のファームウェアは、以下の方法で更新することができます。

・Web ブラウザによる方法
・ACERA Setup Utility(ASU) による方法
(詳細については ASU の HELP を参照してください)
・USB メモリによる方法
(詳細については取扱説明書を参照してください)

■ Web ブラウザによる方法

ファームウェアのファイルを指定した後、「アップロード」ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップロードと書き込みを行い、自動的に再起動します。この場合、Web セッションは切断されます。

11．モードの切替

本機をご使用の際、用途にあわせたモード設定、ネットワーク設定、および無線設定が必要です。
設定モードは ST モード、MS モードの 2 種類あり、工場出荷状態は、ST モードに設定されています。

モード	用途
ST	集中管理コントローラが不要なスタンドアロン型です。小規模な構成向きです。 内蔵 Web サーバ機能を搭載しており、有線 LAN 経由で PC のブラウザから初期設定を行うことができます。また、USB メモリを本機に接続して起動することでも設定を行うことができます。
MS	UNIFAS Managed Server と連携して本機を運用管理します。大規模な構成向きです。

ST モードの場合、初期設定はブラウザ、ACERA Setup Utility (ASU)、もしくは USB メモリの設定情報の読み込みから行います。各機能の詳細な説明、設定については取扱説明書をご覧ください。
MS モードは、UNIFAS を使用します。
※モードの詳細および切り替え方法ついては取扱説明書を参照してください。

12．設置上の注意点

■次のような場所で使用しないでください。

・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所。
・硫黄系ガスが発生する場所（温泉、火山ガスなど）や塩分の多い場所（海岸）。

■ LAN ケーブル接続に関する注意

・本機の LAN ポートにネットワーク機器を接続するには、UTP/STP ケーブルが必要です。
・耐ノイズ性が要求される使用環境では、シールド加工によりノイズ性に優れた STP ケーブルの使用を推奨します。
・LAN 製品の規格に合わせたケーブルをお選びください。適切でない LAN ケーブルの使用は、トラブルの原因となります。
・LAN ケーブルの最大長は 100m です。
・自作ケーブルは使用しないでください。
・2.5GBASE-T、1000BASE-T などは規格名であり通信速度を保証するものではありません。接続先、設置環境等により影響を受けることがあります。

■ 敷設方法に関する注意

・天井、壁面、卓上などへ敷設する場合、ケーブル断面が変形しないよう注意してケーブルを固定してください。
・ケーブルはたるまないように固定してください。
・信号ケーブルは誘導ノイズによる障害を防ぐため、電源線、動力線より離してください。
・落下の危険がありますので、壁面の強度、材質を確認して取り付けてください。

■ 静電気に関する注意

帯電した人や荷物などが触れる恐れのある場所（机の上など）に本機を設置する場合、次のような設置工事を推奨します。

・信号ケーブルは、STP ケーブルを使用してください。
・HUB は、STP 対応品を使用しアースを取ってください。通常は UTP ケーブルを使用できます。

13．安全上の注意点

本機をご使用になる前に、必ずお読みください。注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを示しています。

⚠ 危険　この注意事項が守られず取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うに至る切迫した状態が想定されます。			
●引火性・可燃性物質 (LP ガス・ガソリンなど) が発生・保管されている場所では使用しないでください。	禁止	発火注意	破裂注意
●防滴構造ではありません。雨や水しぶきがかかる場所では使用しないで下さい。本機に水などが入った場合、すぐに使用を中止してください。故障や感電、発火の原因となります。	水場での使用禁止	感電注意	発火注意
●激しい衝撃・連続した振動が加わる場所では使用しないでください。故障や感電、発火の原因となります。	感電注意	発火注意	
●専用の AC アダプタ以外を使用しないでください。故障や感電、発火、破裂の原因となります	感電注意	発火注意	破裂注意
●本機から発煙、発火、異臭が生じた場合は使用を継続せず、すぐに給電を停止してください。そのまま使用すると故障や感電、発火、破裂の原因となります。	感電注意	発火注意	破裂注意

⚠ 危険　この注意事項が守られず取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うに至る切迫した状態が想定されます。			
●人命に関わる用途や、非常に高度な信頼性を要求されるシステムに使用しないでください。	強制		
●分解しないでください。 感電・火災の原因となります。	禁止	感電注意	発火注意
●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 感電・火災の原因となります。	禁止	感電注意	発火注意
●コンセントから抜くときは、プラグをつかんで抜いて下さい。 電源コードは引っ張らないでください。 電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。	禁止	感電注意	発火注意
●落下させないでください。特に高所から落下させた場合、人命に関わる場合があります。 故障や感電、発火の原因となります。	禁止	感電注意	発火注意
●取付板は、壁面の材質に適合したネジ、アンカーを使用して緩み、 強度不足がないように取り付けてください。 落下する原因となります。	禁止		

⚠ 注意　この注意事項が守られず取り扱いを誤った場合、傷害または物的損害が発生する可能性が想定されます。			
●次のような場所では使用・保管しないでください。 ・直射日光の当たる場所や発熱する器具の近くなど高温になる場所 ・温度変化が激しく、結露しやすい場所 ・電気製品・AV・OA 機器 (電子レンジ、スピーカ、テレビ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器具など) 強力な磁界や電界がある場所 変色・破損や性能・寿命を低下させる原因となります。	禁止		
●塵埃 (ほこり、砂埃など) や腐食性ガス (排気ガスなど) が直接かかるような場所では使用しないでください。 電源不良や通信不良などが発生することがあります。	禁止		
●薬品や有機溶剤 (アルコール・シンナー) ・油類 (植物油・鉱物油) などが付着する環境では使用しないでください。 溶解・変形・変色・ケースの割れなどが発生します。	禁止		
●ケース表面（白い樹脂部分）にシール等を貼らないでください。 ●ケース表面の前に金属物などの障害物を設置しないでください。 アンテナ性能の低下や、電波障害の原因となります。	禁止		

14．無線をご使用いただくときの注意

■「電波法」に関する内容です。

本機は「電波法第 4 条第 3 号、電波法施行規則第 6 条第 4 項第 4 号、特定無線設備の技術基準適合証明に関する規則第 2 条第 1 項第 19 号及び 19 号の 3」に該当する 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システム、5GHz 帯小電力データ通信システム及び 5GHz 帯屋外型小電力データ通信システムの無線設備です。無線部回路の変更やアンテナの改造は法律で禁じられています。絶対に改造しないでください。（無線ユニットは、不法改造ができない筐体構造となっております）36ch ～ 64ch（W52,W53 バンド）の屋外 (高出力システムと通信する場合を除く) での使用は禁止されています。

■「一般財団法人 VCCI 協会」の運用主旨に基づくものです。

この装置は、クラス B 機器です。 この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ

■「社団法人電波産業会」ARIB STD-T66 の無線局運用主旨に基づくものです。

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）について相談してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：株式会社 フルノシステムズ
〒 130-0026 東京都墨田区両国 3 － 25 － 5 JEI 両国ビル　TEL：03 － 5600 － 5111（代）

15．5GHz 帯使用に関する注意

気象レーダなどのレーダ波（5GHz 帯）を検出すると法令により、レーダへの与干渉を防止するため自動的にチャンネルを変更する必要があります。
この機能は、DFS（Dynamic Frequency Selection）と呼びます。
IEEE802.11ax/n (5GHz帯)、IEEE802.11ac/a規格のうち、52,56,60,64（W53 帯）、100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144（W56 帯）の各チャンネルを使用した場合に機能します。
IEEE802.11ax/n (5GHz帯)、IEEE802.11ac/a規格のうち、36,40,44,48（W52 帯）チャンネルを使用すれば、レーダとの与干渉はありません。
また、IEEE802.11ax/n (2.4GHz帯)、IEEE802.11g/b規格ではチャンネルに関わらずレーダへの与干渉はありません。電源投入直後、約 1 分はレーダ波の検出を行います。チャンネルが変更された場合、再度約 1 分検出を行います。このため上記チャンネルを設定した場合、稼働開始までの時間が長くなります。
全てのチャンネルでレーダ波を検出した場合、無線通信を約 30 分停波します。
チャンネル変更時、接続先との無線通信が一時的に途切れる場合があります。
レーダへの与干渉を回避するためには、屋外からのレーダ波を受けやすい窓際などへの設置を避けてください。

16．仕様

項　目	内　容	
無線規格 (理論値)	IEEE802.11ax/ac/n/a および 802.11ax/n/g/b を同時使用可 IEEE802.11ax/ac/n：MIMO 構成 2（Tx）× 2（Rx）2 ストリーム (2.4GHz) MIMO 構成 4（Tx）× 4（Rx）4 ストリーム (5GHz) MIMO 構成 2（Tx）× 2（Rx）2 ストリーム (5GHz　160MHz 使用時) IEEE802.11ax：最大伝送速度 574Mbps (2.4GHz) 最大伝送速度 2402Mbps (5GHz) IEEE802.11ac ：最大伝送速度 1733 Mbps IEEE802.11n ：最大伝送速度 300 Mbps (2.4GHz) 最大伝送速度 600 Mbps (5GHz) IEEE802.11a ：6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps IEEE802.11g ：6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps IEEE802.11b ：1/2/5.5/11 Mbps	
変調方式	OFDMA / OFDM / DS-SS	
送信出力	IEEE802.11ax（5GHz）	：+17/+14/+11/+8/+5 dBm (W52/W53)
		：+21/+18/+15/+12/+9 dBm (W56)
	IEEE802.11ac	：+17/+14/+11/+8/+5 dBm (W52/W53)
		：+21/+18/+15/+12/+9 dBm (W56)
	IEEE802.11n（5GHz）	：+17/+14/+11/+8/+5 dBm (W52/W53)
		：+21/+18/+15/+12/+9 dBm (W56)
	IEEE802.11a	：+17/+14/+11/+8/+5 dBm (W52/W53)
		：+21/+18/+15/+12/+9 dBm (W56)
	IEEE802.11ax（2.4GHz）	：+21/+18/+15/+12/+9 dBm
	IEEE802.11n（2.4GHz）	：+21/+18/+15/+12/+9 dBm
	IEEE802.11g	：+21/+18/+15/+12/+9 dBm
	IEEE802.11b	：+17/+14/+11/+8/+5 dBm
ネットワーク通信	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T 全二重 / 半二重 / 極性 自動識別 IEEE802.3at 規格 PoE ※ 2.5GBASE-T は PoE/LAN1 ポートのみ	
外形寸法	199(縦) × 199(横) × 46(高)mm (ゴム足含まない)	
質　量	1.1Kg	
電源 (USB 未使用時)	DC IN	DC12V 最大 1700mA
	PoE 給電時	DC48V 最大 450mA　IEEE802.3at
安全規格	VCCI　クラス B	
環境条件	動作温湿度範囲	－ 10℃～ ＋ 55℃ / 30 ～ 85% RH（結露なきこと）
	保存温湿度範囲	－ 20℃～ ＋ 65℃ / 10 ～ 90% RH（結露なきこと）
環境施策	RoHS 対応	

※高温環境下（約 50℃以上）では、本体の温度上昇を軽減するため無線の通信速度が制限されます。

17．修理依頼の前に

本機は、故障が発生しないように細心の注意を払って設計・製造しています。しかし、万一故障と考えられる症状が起きた場合には、まず本書および取扱説明書の記載内容、下記に該当する操作の間違いや勘違いがないかお確かめの上、当社営業部または販売代理店に修理を依頼してください。

症　状	原　因
全く動作しない (LED が 点灯しない)	本機に電源が供給されていない可能性があります。 ・AC アダプタは AC100V に正しく接続されていますか。 ・AC100V のブレーカはオンになっていますか。 ・PoE 給電装置は電源が入っていますか。PoE 給電の設定は正しいですか。 ・LAN ケーブルは LAN/PoE コネクタに正しく接続していますか。
通信できない	ネットワークに問題がある可能性があります。 【ステータス LED のみが橙点滅している場合】 HUB と正しくリンクしていません。 ・LAN ケーブルは LAN/PoE コネクタに正しく接続していますか。 ・HUB は電源が入っていますか。 ・LAN ケーブルは断線していませんか。LAN ケーブルの規格はあっていますか。 【ステータス LED が青点滅している場合】 ・本機の初期設定は間違っていませんか。 ・IP アドレスやサブネットマスクなどの設定は正しいですか。 ・通信先のサーバは起動していますか。
	無線通信に問題がある可能性があります。 【電波環境について】 ・本機の周囲に電波の障害物がありませんか。 【無線 LAN 設定について】 ・SSID や WEP キー、WPA パスワードなどの設定は間違っていませんか。
	自己診断エラーになっている可能性があります。 ・サブ LED が橙点灯している場合、修理を依頼してください。

18．保証規定

当社より提供する「ACERA 1320」に関しては、以下の保証が適用されます。この製品の保証に関する事項は、当社を通じてのみ対処されるものとします。なお、この保証規定は、日本国内のみにて有効なものとします。

(1) 本製品が付属のマニュアル・資料等にしたがった正常な使用において、当社の公式仕様に適合しない場合、保証書に記載の保証期間に限り、当社の判断に基づき無償にて修理・交換します。本体のみが対象となり、付属品、消耗品につきましては、お買い上げ日より 90 日間の無償交換となります。 但し、郵送頂く場合の郵送料金、梱包費用などはお客様のご負担となります。また、出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

(2) 上記 (1) 項のいずれの対応もお客様からの申し出があった場合にのみ提供されます。

(3) 上記 (1) 項の事態が、火災・地震・ガス害・風水害・落雷・異常電圧及びその他の天災・第三者による行為、その他の事故、お客様の故意若しくは過失・誤用、その他異常な条件下での使用において生じる等当社の責に帰さない理由により生じた場合、当社は保証の責任を負わないものとします。なお、以下に定める場合も保証の対象とはなりません。・お客様によるお買い上げ後の輸送・移動・落下・その他の衝撃による故障・改造・当社以外での修理・その他の取り扱いが適切でなかったことによる故障・ハードウェアに関わる部品の粉失・ハードウェアが接続されている他社製品の故障・不具合・仕様（いわゆる製品同士の相性の問題を含む）に起因する故障・保管上の不備や手入れの不備等に起因する故障・ご使用中に生じる外観上の変化（ケースのキズ、変色等）

(4) 保証期間満了後の故障につきましては、当社の判断により有償にて当社が修理をいたします。

(5) 当社は、本保証規定に規定されていないその他の保証を、明示たると黙示たるとを問わず一切いたしません。

(6) 法律上の請求の原因の種類を問わず、いかなる場合においても当社及びその供給者は、この製品の使用又は使用不能から生ずる本保証規定に規定されていないいかなる他の損害 (事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない) に関して、一切の責任を負わないものとします。例え当社がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

(7) ファームウェアのアップデートは当社が必要と認めたものについてアップデート用ファイルを 準備します。マニュアルに記載している方法にしたがってアップデートを実施してください。ただし、ファームウェアについては、アップデートしたものも含め保証対象外とします。

(8) 当社の保証をお受けになられる際は保証書をご提示ください。尚、お買い上げ日の記載が無い場合は、当社からの出荷日を起点として保証期間を判断します。

(9) 当社の保証をお受けになられた後の保証期間は、元の保証期間の満了日、または修理・交換品の発送日から 90 日間の満了日のいずれかの長い方とします。

(10) 当社はこの規定をいつでも予告なく更新・修正できるものとします。

OMJR11302 202102